

2014年7月29日

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
防衛大臣 小野寺五典 殿

辺野古基地建設に向けた「臨時制限区域」閣議決定に抗議し、
辺野古新基地建設中止を求める要請書

日本キリスト教婦人矯風会は、すべての命の尊重を表明し、武力によらない平和を求めて活動してきました。

今政府は、普天間飛行場の移設を名目に辺野古の海の埋め立てを急速に進めようとしています。2012年9月9日かつて無い規模の10万1000人の沖縄県民大会で「普天間基地返還、辺野古新基地建設反対」の総意が示されました。2013年1月には、沖縄全市町村首長がオスプレイ配備撤回と普天間基地閉鎖および県内移設断念を求める建白書を総理に手渡し、県民挙げて一致した反対を行為で示しました。

然るに政府は集団的自衛権行使の閣議決定をした7月1日に、辺野古基地建設に向けて「臨時制限区域」を閣議決定しました。これは市民の当然の権利である抗議行動を排除するもので、断じて許すことは出来ません。

辺野古の海はジュゴンも棲む豊かな美しい海です。命をはぐくむ海に戦争のための軍事基地をつくることは、天を恐れぬ仕業です。

「辺野古の海にも陸にも新たな基地は造らせない」という沖縄県民の意思を尊重し、辺野古新基地建設をやめるよう、強く要請します。

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会

